

## 第7章. 用紙について

ここでは、本プリンターで使用できる用紙について説明します。用紙にしわ・汚れ・変形などがありますと、印字品質が悪くなるばかりでなく、故障の原因になることがあります。用紙の取り扱いには十分ご注意ください。

### 1. 用紙に関する注意

用紙を大量に購入して使用する場合は、注文する前に必ず試し印刷を実施してください。用紙が正しく送られることと、印字が明瞭であることを確認してください。

次のような用紙を使用すると、用紙送りが不安定になり、用紙詰まりや用紙折れ、および印字ずれを起こす場合があります。

- ・部分的に厚さの異なる用紙
- ・のり付け面が露出しているもの、波打っているもの、はがれているもの
- ・金属の付いているもの
- ・切り抜き部分や窓のある用紙（とじ穴付き用紙も含む）
- ・浮彫りのある用紙
- ・折りたたんだ用紙
- ・端または角が切れていたり、折れている用紙、先端がそっている用紙
- ・極端に薄い用紙または厚い用紙（用紙規格を満たさないもの）

注意）複写枚数は、オリジナルを含めて6枚以内ですが、用紙連量（厚み）によって異なります。

用紙厚最大0.36 mm を越えるものは使用できません。

- ・小さすぎる用紙や大きすぎる用紙（用紙規格を満たさないもの）
- ・光沢紙や写真付き紙ハガキ等、表面、裏面がツルツルしてすべりやすいもの。
- ・湾曲した用紙

注意）高温、多湿の場所での用紙の保管は、カールやシワの発生する原因となりますので避けてください。用紙がカールしている場合は、用紙が平らになるように逆にさばいて、カールがなくなるようにしてから使用してください。

用紙は白色上質紙をおすすめ致します。

推奨用紙：

単票：「マルチ・システム用紙 SX」

連続紙：「汎用用紙（上質連続用紙）」

以下のような用紙を使用する場合は、事前に十分な印字テストを行ってください。

- ラベル紙（用紙を曲げるとラベルがはがれやすいもの）  
注意）台紙上または台紙とラベル紙をまたぐ印刷は避けてください。
- 紙ホチキスを使用している複用紙
- 用紙規格を満たさない厚さのハガキや封筒
- 再生紙
- 事前印刷用紙及び用紙裏面に事前印刷のある用紙

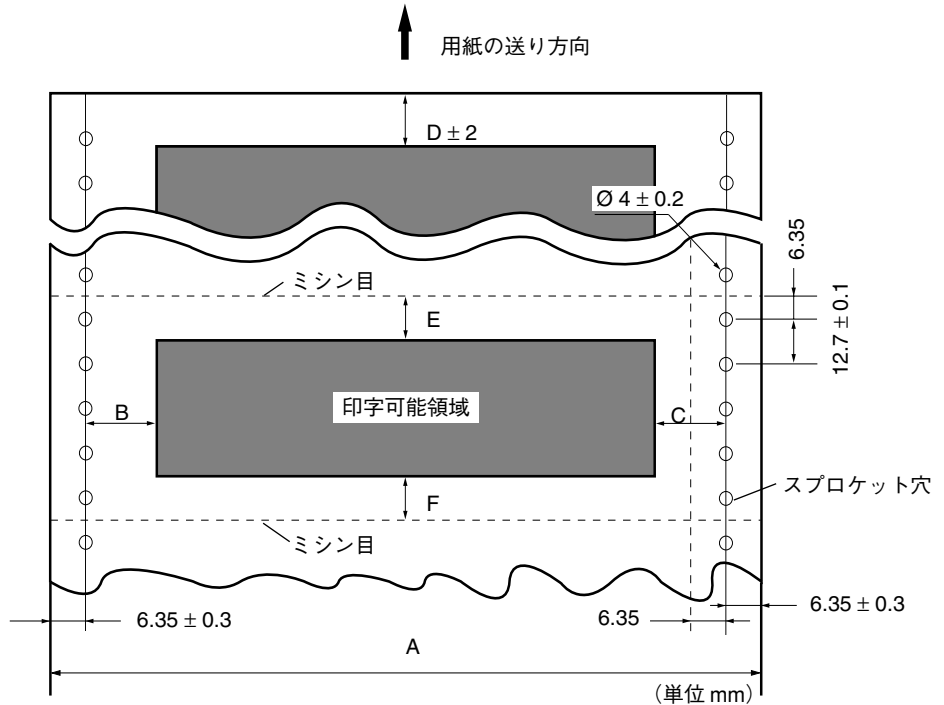
用紙については、弊社プリンター／サプライ事業部宛お問い合わせください。

（電話番号 03-3808-8486）

## 2. 連続用紙（下トラクター、上トラクター使用時）

### 2. 1 印字可能領域と用紙寸法

（印字ヘッドの1番ピンにて印字した場合）



記号	寸法	内容
A	3 ~ 16 in.	用紙幅
B	6.35 mm (Min.)	スプロケット穴、縦ミシン目の影響による印字汚れ、かすれなどを避けるため印字しないことが望ましい領域。
C	6.35 mm (Min.)	実使用上は、12 mm 以上取ることを推奨します。
D	6.35 mm	自動給紙によるセット時の用紙の頭出し寸法。（用紙先端から印字ヘッドの1ピンまでの距離）
E	6.35 mm	横ミシン目の影響による印字汚れ、ピッチ乱れを避けるため、印字しないことが望ましい領域。
F	6.35 mm	横ミシン目の影響による印字汚れ、ピッチ乱れを避けるため、印字しないことが望ましい領域。ただし、最終ページでのFの値約20 mmは、用紙送り精度が乱れることがあります。

注意) 16インチ・サイズ of 用紙を使用する場合、Bの値は約13mm (Min.) です。

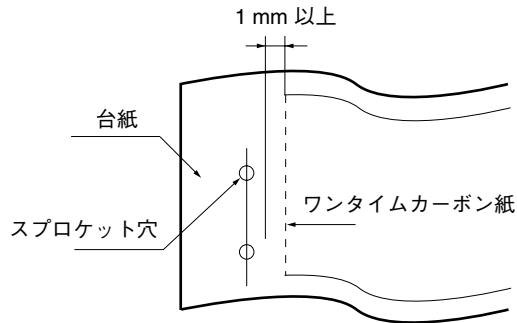
## 2. 2 用紙の種類および枚数

紙質	連量 (kg)	枚数	両側 点又は 線のり付け	両側 紙ホチキス	両側又は 片側フリー
上質紙	45-135	1	-	-	-
ワнтаイム カーボン付用紙	32.5-38.5	4-6	○	△	×
	32.5-48.5	2-3	○	△	×
感圧紙	32.5-38.5	4-6	○	△	×
	34-55	2-3	○	△	×

- 注意) 1. 表中の枚数は、オリジナルを含んだ枚数で、同一用紙を重ねて複写した場合の枚数です。
2. 表中の○は、使用を推奨します。△は使用可能です。また、×は使用不可です。
3. 用紙の連量とは、用紙の厚さの単位であり、四六判 (788 mm × 1091 mm) の用紙 1000 枚の重量を示しています。(単位: kg)
4. トータル厚みが 0.36 mm を越える用紙は使用できません。
5. 単票用紙モードで、連続用紙は使用しないでください。

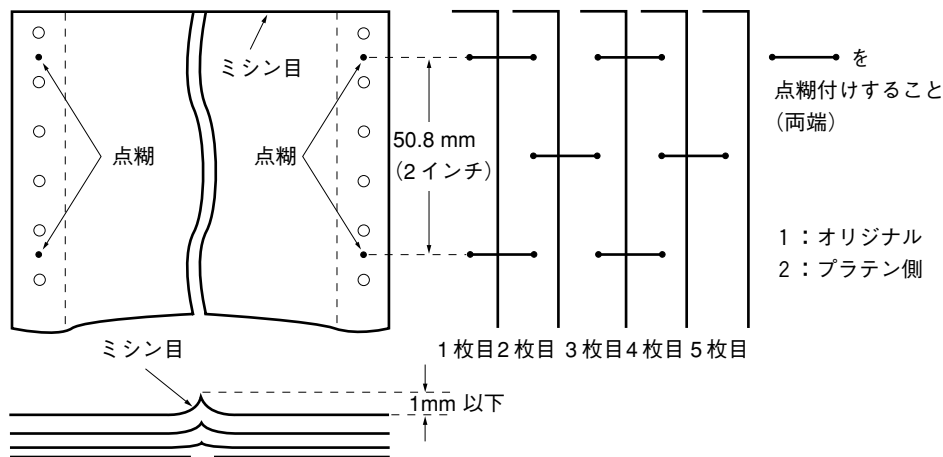
## 2. 3 複葉紙の使用条件

- (1) カーボン付用紙のカーボン紙は、台紙にのり付けし、スプロケット穴よりも外側に出ないようにしてください。



- (2) 紙ホチキスはすべて裏面側に折るよう to してください。  
紙ホチキス用紙を使用する場合は、「第4章の1. 3 プリンター設定」4-3 ページを参照して、紙ホチキスモードに設定してください。  
紙ホチキス用紙の最終ページがトラクターから外れたときに印字すると、用紙によっては正しく印字されない場合があります。また、紙ホチキス部分の厚さが他の部分に比べ大きく違っている用紙の場合は、用紙づまりや、印字ずれを起こすことがあります。必ず事前にテストをしてから使用してください。

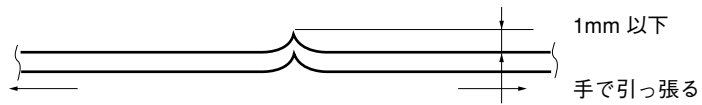
- (3) 紙ホチキスは行間ズレが大きくなりがちなので、3パーツ以上は使用しないでください。
- (4) のり付けは、スプロケット穴付近で行ってください（両端から1/2インチ以内）。  
 複葉紙ののり付けは、用紙両端を点のり付けしてください。（下図参照）  
 のり付けは、均一でかつ著しいしわがないように注意してください。  
 また、複葉紙のミシン目のふくらみの高さは、1mm以下になるようにしてください。  
 （下図参照）



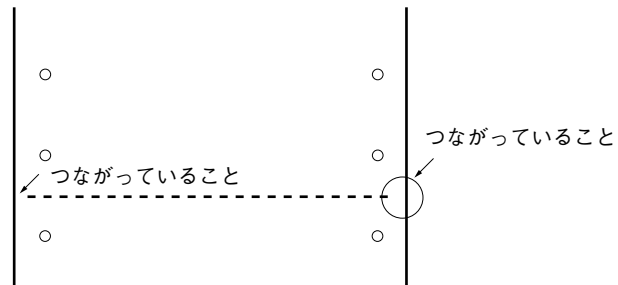
- (5) 帳合は原則として両端帳合とし、片側帳合は不可とします。
- (6) 金属ホチキス綴りは、プリンターを損傷させるので使用しないでください。
- (7) 帳合は均一で、著しいしわができないようにしてください。
- (8) オリジナルと複葉紙で大きさの異なる用紙は使用できません。
- (9) 複写枚数は、オリジナルを含めて6枚以内ですが、用紙連量によって異なります。  
 「第3章の5. 用紙厚調整」3-19ページを参照してください。

## 2. 4 ミシン目について

- (1) 折りたたみ部分の寸法（テント張り寸法）は折りたたんだ用紙を広げた場合（軽く引っ張って）折りたたみ部分の高さが1mm以下のものを使用してください。



- (2) 用紙は縦方向に横ミシン目の部分でジグザグに折りたたまれているものを使用してください。
- (3) ミシン目の両端は破断していないものを使用してください。



- (4) ミシン目部では用紙のめくれがないものを使用してください。
- (5) 縦ミシン目は用紙端より1/2インチ以内であり、ミシン目部での用紙の折れ、用紙のめくれ、破断などを起こしていないものを使用してください。
- (6) 縦ミシン目と横ミシン目の交差部は、破断面がクロスしていないものを使用してください。

## 2. 5 連続用紙の用紙切れ（用紙終了）

連続用紙モードで用紙切れを検出したとき、プリンターは、最終ページの下端から約6.4 mmのところ印刷を自動的に中断します。印刷は不可状態となり、用紙点検ランプが点灯します。

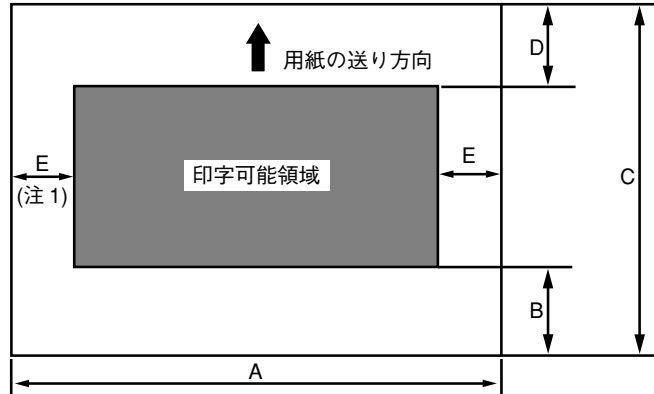
連続用紙が印刷中に用紙切れとなった場合は、新しい用紙をセットしてから印刷スイッチを押して、印刷を再開してください。

プリンターが認識しているページ長と、実際に使用している用紙のページ長が異なる場合は、途中で印字を終了したり、プラテンに印字する危険がありますので、必ずページ長を合わせるようにしてください。

### 3. 単票用紙

#### 3. 1 単票用紙挿入ガイドからの給紙

##### 3. 1. 1 印字可能領域と用紙寸法（印字ヘッドの1番ピンで印字した場合）



記号	寸法	内 容
A	76.2 ~ 420 mm	用紙幅（3 インチ～ A3 サイズ横置き）
B	6.35 mm (Min.)	用紙端から印字領域までの距離
C	76.2 ~ 364 mm	用紙長さ（3 インチ～ B4 サイズ縦置き）
D	6.35 mm (Min.)	用紙端から印字領域までの距離
E	6.35 mm (Min.)	用紙端から印字領域までの距離

- 注意) 1. A3 サイズ（横置き）の用紙を使用する場合、E の値は約 37 mm (Min.) です。
2. 用紙の縦横比は  $1/\sqrt{2} \sim \sqrt{2}$  の範囲の用紙を使用してください。
3. 3 インチ幅の用紙では、用紙ガイドは左のみ使用します。



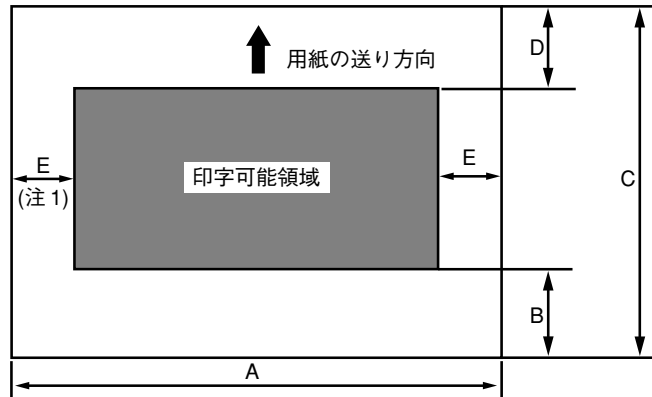
### 3. 1. 2 用紙の種類

種類	連量 (kg)	寸法 (横×縦 mm)
単葉紙 (A4 サイズ縦置き)	38.5 ~ 78	210 × 297
単葉紙 (A4 サイズ横置き)		297 × 210
単葉紙 (B5 サイズ縦置き)		182 × 257
単葉紙 (B5 サイズ横置き)		257 × 182
単葉紙 (B4 サイズ縦置き)		257 × 364
単葉紙 (B4 サイズ横置き)		364 × 257
単葉紙 (A3 サイズ横置き)		420 × 297
複葉紙 (2-3)	32.5 ~ 48.5	
複葉紙 (4-6)	32.5 ~ 38.5	

注意) 複葉紙は、用紙によって使用できない場合があります。

### 3. 2 自動給紙機構（ASF）からの給紙

#### 3. 2. 1 印字可能領域と用紙寸法（印字ヘッドの1番ピンで印字した場合）



記号	寸法	内 容
A	100 ~ 420 mm	用紙幅（ハガキ縦置き～A3サイズ横置き）
B	6.35 mm (Min.)	用紙端から印字領域までの距離
C	100 ~ 364 mm	用紙長さ（4インチ～B4サイズ縦置き）
D	6.35 mm (Min.)	用紙端から印字領域までの距離
E	6.35 mm (Min.)	用紙端から印字領域までの距離

注意) 1. A3サイズ（横置き）の用紙を使用する場合、Eの値は約37 mm（Min.）です。

2. 用紙の縦横比は  $1/\sqrt{2} \sim \sqrt{2}$  の範囲の用紙を使用してください。

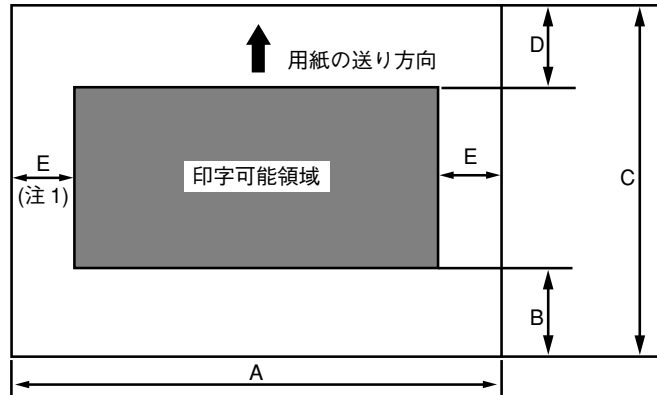
## 3. 2. 2 用紙の種類

種類	連量 (kg)	寸法 (横×縦 mm)
単葉紙 (A4 サイズ縦置き)	38.5 ~ 78	210 × 297
単葉紙 (A4 サイズ横置き)		297 × 210
単葉紙 (B5 サイズ縦置き)		182 × 257
単葉紙 (B5 サイズ横置き)		257 × 182
単葉紙 (B4 サイズ縦置き)		257 × 364
単葉紙 (B4 サイズ横置き)		364 × 257
単葉紙 (A3 サイズ横置き)		420 × 297
複葉紙 (2-3)	32.5 ~ 48.5	
複葉紙 (4-5)	32.5 ~ 38.5	

- 注意) 1. 複葉紙は、用紙によって使用できない場合があります。  
 2. トータル厚みが0.36 mm を越える用紙は使用できません。

### 3. 3 上トラクターおよび自動給紙機構の手差しガイドからの給紙

#### 3. 3. 1 印字可能領域と用紙寸法（印字ヘッドの1番ピンで印字した場合）



記号	寸法	内容
A	76.2 ~ 420 mm	用紙幅（3インチ～A3サイズ横置き）
B	6.35 mm (Min.)	用紙端から印字領域までの距離
C	76.2 ~ 364 mm	用紙長さ（3インチ～B4サイズ縦置き）
D	6.35 mm (Min.)	用紙端から印字領域までの距離
E	6.35 mm (Min.)	用紙端から印字領域までの距離

- 注意) 1. A3サイズ（横置き）の用紙を使用する場合、Eの値は約37mm（Min.）です。  
 2. 用紙の縦横比は $1/\sqrt{2} \sim \sqrt{2}$ の範囲の用紙を使用してください。

### 3. 3. 2 用紙の種類

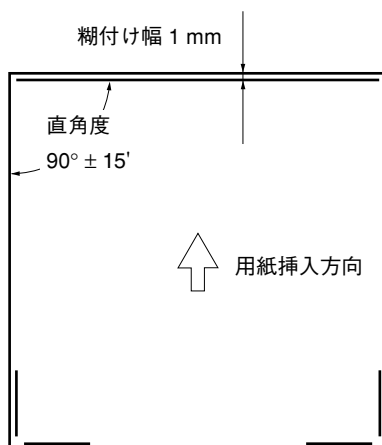
種類	連量 (kg)	寸法 (横×縦 mm)
単葉紙 (A4 サイズ縦置き)	38.5 ~ 78	210 × 297
単葉紙 (A4 サイズ横置き)		297 × 210
単葉紙 (B5 サイズ縦置き)		182 × 257
単葉紙 (B5 サイズ横置き)		257 × 182
単葉紙 (B4 サイズ縦置き)		257 × 364
単葉紙 (B4 サイズ横置き)		364 × 257
単葉紙 (A3 サイズ横置き)		420 × 297
複葉紙 (2-3)	32.5 ~ 48.5	
複葉紙 (4-6)	32.5 ~ 38.5	

- 注意) 1. 複葉紙は、用紙によって使用できない場合があります。  
2. トータル厚みが0.36 mm を越える用紙は使用できません。

### 3. 4 単票用紙の使用条件

- (1) 用紙の縦と横の直角度は、 $90^{\circ} \pm 15'$  以内にしてください。
- (2) ミシン目が入った単票用紙を使用すると、用紙詰まりを起こす原因となりますので、避けてください。
- (3) 複葉紙の種類は、感圧紙および裏カーボン紙が使用できます。  
複写枚数は、オリジナルを含めて6枚以内ですが、用紙連量によって異なります。  
「第3章の5. 用紙厚調整」3-19 ページを参照してください。  
また、オリジナルと複葉紙で大きさの異なる用紙は使用できません。  
複葉紙ののり付けは、用紙先端に沿って幅1 mm以上および用紙後端の両端に長さ10 mm、幅1 mm以上、または左右両端の後端に長さ10 mm、幅1 mm以上にしてください。  
  
注意) のり付けが不十分、極端に固い、波打ち状態である場合は、用紙詰まりを起こす原因となりますので、避けてください。

複葉紙ののり付け規格



### 3. 5 単票用紙の印刷範囲について

用紙の先頭行位置は、**位置決め**スイッチによりトップ・マージンを6.4 mmより下の位置に設定できます。ただし、用紙上端から最初の印刷行までの距離は、ソフトウェアや行送り量に依存します。最後の印刷行は文字の下端から用紙の下端までの距離を11.3 mm以上空けてください。11.3 mmより下に印字可能ですが、これは用紙送り誤差または用紙自体の長さの誤差により一定ではありません。

単票用紙の排出に制御コードを用いる場合は、次ページの印字データが下端に印字されないように、必ずFF（書式送り）コードまたはESX 0E 00 01 06（単票用紙排出）コードを使用してください。FFコードまたはESX 0E 00 01 06コードを使用していないソフトウェアの場合は、ボトム・マージンを調整することにより書式を整えてください。

### 3. 6 単票用紙設計上の注意

単票用紙の印字可能領域は7-8ページ、7-10ページ、7-12ページの図のようになっています。ただし、印字位置は種々の要因によりずれることがありますので、単票用紙上の事前印刷のレイアウトには、以下のことを考慮してください。

用紙左端の印字不可領域は、単票用紙挿入機構の左用紙ガイドの位置設定や、用紙の差し込み方によって変わることがあります。事前印刷用紙に対して印字位置のずれが生じた場合は、左用紙ガイドを移動して若干の補正ができます。

ボトム・マージンの限度ぎりぎりまで印刷させるような設計を行うと、最終行が印字されずに用紙が排出されることがあります。このような事態を避けるため、用紙を設計する際には、少なくとも1行分程度の余裕を設けてください。

単票用紙の排出に制御コードを用いる場合は、FF（書式送り）コードまたはESX 0E 00 01 06（単票用紙排出）コードを使用してください。LF（改行）コードを連続して使用することにより、自動改ページを行わせることは避けてください。